



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,496	9.9	8	—	14	—	△1	—
27年3月期第2四半期	1,362	1.0	△34	—	△27	—	△33	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.13	—
27年3月期第2四半期	△3.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,619	2,142	81.8
27年3月期	2,668	2,168	81.3

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,142百万円 27年3月期 2,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,190	10.1	130	197.3	140	145.6	115	213.8	10.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	11,368,541 株	27年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	432,213 株	27年3月期	431,447 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	10,936,328 株	27年3月期2Q	10,937,213 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年12月4日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料を開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
5. 補足情報	10
(1) 仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、個人消費については、消費の基盤となる個人所得の水準は小幅な改善に留まる等、先行きは依然として不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップ ワットマン）のもと、前期に引き続き、買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、当第2四半期累計期間において、朝比奈事業所を改装しリニューアルオープンし、ワットマンテック・スタイル二宮店を開店いたしました。この結果当第2四半期末時点の店舗数は16事業所37店舗となっております。

当第2四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ1億34百万円(9.9%)増収の14億96百万円となりました。既存店の売上は、業績回復により前年同四半期と比べ54百万円(4.5%)増収の12億74百万円、開閉店の売上も、新店業績が伸びた事および二宮店開店により79百万円(56.2%)増収の2億21百万円でした。

商品カテゴリー別の売上高では、新店の寄与により電化製品等が前年同四半期と比べ45百万円(18.3%)増収の2億91百万円、服飾等が64百万円(13.3%)増収の5億43百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が11百万円(2.4%)増収の4億94百万円、その他が13百万円(8.8%)増収の1億66百万円となりました。

売上総利益は、既存店は売上増加により、前年同四半期と比べ29百万円(3.4%)増益の9億円となりました。開閉店は新店の売上高が増加したため、前年同四半期と比べ54百万円(58.6%)増益の1億48百万円となりました。その結果、全社で84百万円(8.8%)増益の10億48百万円となりました。一方売上総利益率は70.1%と前年同四半期と比べ0.7ポイント減少いたしました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ27百万円(16.4%)増益の1億95百万円、服飾等が38百万円(10.7%)増益の4億3百万円、パッケージメディアが7百万円(2.3%)増益の3億18百万円、その他が10百万円(9.1%)増益の1億31百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、新店舗開店に伴い消耗品費等及び、人件費、地代家賃、支払手数料等が増加いたしました。この結果、販売費及び一般管理費は既存店で前年同四半期と比べ1百万円(0.1%)増加の8億32百万円、開閉店で39百万円(23.6%)増加の2億7百万円、全社合計で40百万円(4.1%)増加の10億40百万円となりました。

この様に既存店は前年同四半期と比べ28百万円(72.1%)増益の営業利益68百万円を達成し、開閉店では15百万円増益の営業損失59百万円、全社では43百万円増益の営業利益8百万円となりました。経常増益は前年同四半期と比べ41百万円増益の経常利益14百万円となりました。

四半期純損失は綾瀬店の移転が決定した事に伴う減損損失9百万円等の計上があったため、前年同四半期と比べ31百万円回復にとどまり1百万円となりました。

なお、平成26年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1億23百万円減少し、10億84百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億40百万円、その他流動資産が12百万円減少し、商品が26百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて74百万円増加し、15億35百万円となりました。これは有形固定資産が39百万円増加、投資有価証券が23百万円、敷金及び保証金が9百万円それぞれ増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ48百万円減少し、26億19百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2百万円増加し、3億14百万円となりました。これは主に、短期借入金が50百万円増加し、未払法人税等が9百万円、その他流動負債が40百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて25百万円減少し、1億63百万円となりました。これは主に、長期借入金が29百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ22百万円減少し、4億77百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ26百万円減少し、21億42百万円となりました。これは主に、利益剰余金が23百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年5月15日付の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	641,644	501,295
売掛金	33,698	36,506
商品	385,563	411,962
その他	146,451	134,408
流動資産合計	1,207,358	1,084,172
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,174	344,026
土地	382,457	382,457
その他(純額)	87,960	149,312
有形固定資産合計	836,592	875,795
無形固定資産	24,114	28,107
投資その他の資産		
投資有価証券	65,266	88,665
敷金及び保証金	504,661	514,503
その他	30,814	28,606
投資その他の資産合計	600,742	631,775
固定資産合計	1,461,449	1,535,679
資産合計	2,668,807	2,619,851
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,716	11,109
短期借入金	-	50,000
1年内返済予定の長期借入金	58,700	58,700
未払法人税等	20,981	11,051
賞与引当金	12,000	12,000
その他	211,939	171,425
流動負債合計	311,337	314,285
固定負債		
長期借入金	80,240	50,890
退職給付引当金	12,271	15,968
その他	96,385	96,264
固定負債合計	188,896	163,123
負債合計	500,234	477,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	132,761	109,425
自己株式	△57,379	△57,512
株主資本合計	2,257,116	2,233,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,183	4,521
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△88,542	△91,204
純資産合計	2,168,573	2,142,442
負債純資産合計	2,668,807	2,619,851

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,362,167	1,496,640
売上原価	397,705	447,645
売上総利益	964,461	1,048,995
販売費及び一般管理費	999,280	1,040,115
営業利益又は営業損失(△)	△34,818	8,879
営業外収益		
受取利息	2,542	2,005
受取配当金	605	465
受取手数料	3,572	3,542
雑収入	4,242	2,785
営業外収益合計	10,963	8,798
営業外費用		
支払利息	1,640	1,105
雑損失	2,188	2,188
その他	84	169
営業外費用合計	3,914	3,463
経常利益又は経常損失(△)	△27,769	14,214
特別損失		
固定資産除売却損	1,780	630
減損損失	-	9,539
特別損失合計	1,780	10,170
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△29,550	4,044
法人税等	3,800	5,506
四半期純損失(△)	△33,350	△1,461

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△29,550	4,044
減価償却費	44,448	43,534
減損損失	-	9,539
長期前払費用償却額	3,788	2,208
差入保証金償却額	975	1,775
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,000	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,414	3,697
受取利息及び受取配当金	△3,147	△2,470
支払利息	1,640	1,105
固定資産除売却損益(△は益)	1,780	630
売上債権の増減額(△は増加)	1,171	△2,807
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,441	△26,399
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,272	3,392
未払費用の増減額(△は減少)	△4,617	635
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,616	△38,496
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,665	5,425
その他の負債の増減額(△は減少)	1,414	△4,301
小計	1,554	1,514
利息及び配当金の受取額	785	516
法人税等の還付額	6,426	-
利息の支払額	△1,625	△1,096
法人税等の支払額	△3,610	△12,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,531	△11,701
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,394	△91,732
無形固定資産の取得による支出	△3,225	△6,000
投資有価証券の取得による支出	-	△26,182
敷金及び保証金の差入による支出	-	△18,800
敷金及び保証金の回収による収入	15,822	15,822
その他	-	△519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,797	△127,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	50,000
長期借入れによる収入	15,000	-
長期借入金の返済による支出	△29,100	△29,350
自己株式の取得による支出	△22	△132
配当金の支払額	△21,783	△21,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,906	△1,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,173	△140,349
現金及び現金同等物の期首残高	666,040	641,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	573,867	501,295

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	116,705	24.6	123.4
	服飾等	157,796	33.3	121.9
	パッケージメディア	164,647	34.7	99.1
	その他	34,895	7.4	95.1
合計		474,044	100.0	111.1

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	291,913	19.5	118.3
	服飾等	543,834	36.3	113.3
	パッケージメディア	494,807	33.1	102.4
	その他	166,084	11.1	108.8
合計		1,496,640	100.0	109.9

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。